

桑井選手が幕別帰郷

7人制ラグビー「次は五輪メダル」 町長表敬訪問

【幕別】来年のリオデジヤネイロ五輪で出場権を獲得した女子7人制ラグビー日本代表の幕別町出身の桑井亜乃さん(26)はアルカス熊谷立正大学院、中京大、帯農高出IIが11日、町役場を表敬訪問した。桑井さんは飯田晴義町長

にサインボールをプレゼントし、町からはリオデジャネイロ五輪出場決定を祝う花束と、町のキャラクター「パオくん」のイラストが入ったカップ麺が贈られた。

桑井さんは「金メダルを(チームみんなが)目指し



ている。次はメダルを持つ報告にきたい」と五輪に

頑張つて」と激励した。(眞尾敦)

飯田町長(左)を表敬訪問した桑井さん(長尾悦郎通信員)

向けて意欲を表明。飯田町長も「オリンピックに出れば、(町出身では)8人目になる。ケガをしないようにしっかりと練習して